

2021 年度 個人研究実績・成果報告書

2022 年 4 月 25 日

所属	商経学部	職名	准教授	氏名	大賀 紀代子
研究課題	イングランド綿業史における「手織物工場」の実態について				
研究キーワード	イギリス 産業革命 綿業	当年度計画に対する達成度	2.順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が達成できた		
関連するSDGs項目	8.働きがいも経済成長も	9.産業と技術革新の基盤をつくろう	4.質の高い教育をみんなに	5.ジェンダー平等を実現しよう	
<p>1. 研究成果の概要</p> <p>今年度は、昨年度に引き続き、産業革命期のイギリスを対象とし、そこにおける「手織工」をはじめとする生産形態・経営形態の実態とその変化についての考察を行った。</p> <p>いままでの研究では、「機械化のなかで仕事を失った手織工は貧困に陥った」と理解されてきた。しかし、今年度、本研究で自身がおこなった一次史料（British Parliamentary Papers）の分析では、手織工が賃金低下に陥らないように、手織業に対する法整備を進めていたことが明らかとなった。</p> <p>2. 著書・論文・学会発表等（査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載）</p> <p>【論文（査読あり）】</p> <p>2020 年度に論文 2 本分に該当する内容の論文 1 本を作成したため、2021 年度は次の論文作成に向けての下準備のために一次史料の解説等を行う必要があり、2021 年度はそのための研究時間となった。</p> <p>【著書・論文（査読なし）】</p> <p>【学会発表等】</p> <p>3. 主な経費</p> <p>①資料分析に必要なパソコンを購入した。</p> <p>②イギリス経済史・イギリス史関連の書籍を購入した。</p> <p>4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）</p> <p>千葉県開発審査会委員（2016 年 4 月～継続中）</p>					
（本文は2ページ以内にまとめること）					